

事務事業評価表[簡易]

位置づけ														
事務事業名称	環境学習推進事業					担当	経済環境部 環境政策課					連絡先	0594-24-1437	
総合計画体系	施策	02	命を守ることが最優先			単位施策	04	環境・廃棄物対策			基本事業	01	環境負荷の少ないまちづくり	
事務事業の目的と成果														
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）						2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）								
市域の小学生						申込のあった小学校で環境学習出前講座を実施する。 ・講義（1時限） 地球温暖化、エネルギー、省エネに関する講座 ・参加型学習（2時限） 風力発電工作教室 省エネルギー教室								
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）														
小学生が出前講座を受講することで電気の大切さを体感し、個々の省エネ意識を高めていけば、その効果は家族を通じて大人へも波及していくことが期待できる。														
対象指標名（対象の大きさを示す指標）						活動指標名（手段や活動内容を示す指標）								
A	市域の全小学校数					C	出前講座の実施小学校数							
B						D								
成果指標名（意図達成度合を示す指標）						成果指標算定式E								
E	出前講座の実施率					E	実施小学校数 / 全小学校数 × 100							
F						F								

4 事業量・コスト・指標の推移												
区分	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度当初	27年度繰越	27年度補正	27年度現計	28年度要求	28年度査定	29年度計画	
A 対象指標	校	-	28	28	28							
B 対象指標												
C 活動指標	校	-	14	10	12							
D 活動指標												
E 成果指標	目標	-	35	35	40							
	実績	-	50	36								
F 成果指標	目標											
	実績											
G 事業費	計	千円	0	310	343	639	0	0	0	0	0	
	ア 国支出金	千円				0						
	イ 県支出金	千円				0						
	ウ 地方債	千円				0						
	エ その他	千円				0						
	オ 一般	千円		310	343	639						
H 正職員人工数	人工		0.31	0.31								
I 嘱託再任用人工数	人工											
J 人件費合計	千円	0	2,162	2,195	0	0	0	0	0	0	0	
K トータルコスト	千円	0	2,472	2,538	639	0	0	0	0	0	0	
M 単位あたりコスト	円	-	-	-	-	単位コストの指標・考え方						
公的関与		基本事業への貢献度			成果状況			成果向上余地		成果の阻害要因		実施主体
妥当である		大きい			横ばい			ある（向上）		ない		市職員
H27年度の改善・見直し内容、問題点・課題等							H27年度の方向性					
26年度は前年度に比べ、件数で比較すると減少する結果となった。来年度の件数増に繋げるため、児童だけでなく教員にとっても学習として有効と思ってもらえるようなコンテンツへの見直し、検討や周知方法の工夫に取り組んでいきたいと考えています。また児童の満足度の向上を図り、他のクラス・学年での開催を増やし一校当たりのリピート率を上げていきたいです。							「拡充」 「現状維持」 「縮小」 「休止廃止」 「見直し」					